

令和元年度 第9回 東区自治協議会 会議概要

開催日時	令和元年12月26日(木) 午後2時から2時50分
会場	東区プラザ ホール
出席者	<p>【委員】 國兼委員、作左部委員、和田委員、関根委員、野村(修)委員、長谷川委員、佐藤(清)委員、近藤委員、菊谷委員、月岡委員、野村(綏)委員、安藤委員、白井(俊)委員、白井(雅)委員、太田委員、川上委員、木村委員、後藤委員、佐藤(恵)委員、田中委員、貝津委員、大江委員、高橋委員、中川委員、山田委員、土田委員、雪井委員 計27名 [欠席：吉田委員、斎藤委員、眞柄委員]</p> <p>【事務局】 (東区)堀内区長、櫻井副区長(総務課長)、江戸地域課長、古寺区民生活課長、山田健康福祉課長、萩野保護課長、伊藤建設課長、鷺尾中地区公民館長、青木石山出張所長、井島東消防署長、阿部教育支援センター所長、高橋地域課長補佐、地域課職員</p>
1. 開会	<p>(区長) 年末のお忙しい中、お集まりいただきましてありがとうございます。今年は暖冬と聞いており、冬にしては暖かな日が続いております。雪が降らないと困る方々もいらっしやると思いますが、生活していくうえでは除雪に追われることがないような穏やかな日が続けばいいと思っていますところ です。</p> <p>市役所も12月27日が仕事納めになり、1月6日が新年の仕事始めとなります。本日が、今年最後の自治協議会となります。皆様にはこの1年、改選された皆様は4月以降となりますが、様々な議論や多くの事業を通し、東区の課題に取り組んでいただきました。心から感謝申し上げます。住みよい東区にしていくための課題はまだ山積みです。来年も議論を重ね、皆様とともに継続して取り組んでいければと思っています。どうぞよろしく願いいたします。</p> <p>今年は、新潟港の開港150周年ということで年が明けました。来年は、いよいよオリンピックイヤーになります。東区にもロシアの新体操チームが事前合宿で滞在いたします。どのような機会を作れるのかはこれからですが、せっかくですので、世界の技に触れて感動することで、私たち大人だけではなく、次世代を担う子どもたちが明るく元気になれるような年になれば良いと思っています。</p> <p>それでは、第9回東区自治協議会を開催いたします。</p> <p>(事務局) 引き続き、議事に入ります前に事務局から報告と確認をさせていただきます。 本日は、吉田委員、斎藤委員、眞柄委員から欠席のご連絡をいただいておりますが、出席者数が新潟市区自治協議会条例第9条第2項の規定に達しておりますので、本会議は成立しております。</p> <p>また、報道関係者から取材の申出があった場合は許可してよろしいでしょうか。</p>

<p>2. 自治協議会関連事項 (1) 各部会報告</p>	<p>(「異議なしの声」) それでは、そのようにさせていただきます。 ここで、資料の確認をいたします。本日の資料は、次第、資料1-1から資料5となります。そのうち、本日お配りした資料は、次第と資料2「広報紙編集部会」会議概要録、参考資料としまして、「バレンタインふれあいコンサート」のチラシ、「東区まちづくりセミナー」のチラシとなります。 資料に不足がございましたらお知らせください。 それでは、後藤会長より議事進行をお願いいたします。</p> <p>(後藤会長) はじめに、2「自治協議会関連事項」(1)「各部会報告」です。市民協働部門の第1部会から報告をお願いいたします。</p> <p>(長谷川委員) 第9回の会議は、12月13日に開催しました。 はじめに、令和元年度区自治協議会提案事業について、12月9日、10日に開催した「発災時の地域防災対応力向上事業」の振り返りを行いました。資料として、当日の講義と各回の発表のまとめと、参加者のアンケート結果をつけています。第1部会での話し合いの結果、今後、各地域が防災に対する備えに取り組んでいけるように、東区コミュニティ協議会連絡会で報告を行うことになり、昨日報告をいたしました。 振り返りについてですが、アンケートでも多くの意見が出ましたが、部会でも意見を出し合いました。アンケート結果を見ると、今回の事業の趣旨が参加者に理解してもらえたようで、非常によかったという意見、大勢の参加があり、活発な意見交換ができたという意見、その場限りではなく、地域に持ち帰って次につながる話し合いができたという意見、ワークショップの問題設定が明確で、講師の進め方に工夫が見られたという意見、この事業を各地域に持ち帰って実施し、自治会・町内会ごとの特性や課題について検討する必要があるという意見が出ました。また、残念であります、自治会長1名で参加しているところが多く、3~4名で参加した方が町内のことがよく分かったのではないかという意見も出ました。それから、参加申込みをしてから開催までの期間が長かったため、忘れてしまったのか若干欠席もありました。また、グループによって話し合う内容に差があり、繰り返し検討していく必要があると思う、という意見がありました。例えば津波警報が出た場合は、地域によってかなり時間の差がある等の違いもあるということです。内容が少し物足りなかったという意見もありました。今回は、自治会や町内会が対象だったので、ワークショップの内容を「地域でやること」に特化してもよかったのではないかという意見、自治会・町内会で自主的に防災の備えをするきっかけになるとよいということで、今後、自治会や町内会の活動を期待したいという意見もありました。 次に、「東区まちづくりセミナー」の開催について、事務局より実施案の説明があり、その後に内容や参加者の募集方法等について検討しました。これについても、東区内地域コミュニティ協議会連絡会で、参加を呼びかけることになり、昨日説明をいたしまし</p>
-----------------------------------	---

た。開催日は、令和2年2月16日（日）で、場所は、東区プラザホールです。内容については、資料に記載のとおりです。チラシにもありますように「じゅんさい池」をキーワードにして、東区のまちづくりを考えるセミナーですので、広く皆さんから参加していただきたいということでお願いいたします。各コミュニティ協議会からは、5名程度の参加をお願いしました。来年度は区の企画事業になることもあり、幅広く皆さんに周知したいと思います、区だよりも掲載しますが、自治協議会の皆さんからも、ぜひ参加をお願いいたします。

次に、令和元年度区自治協議会提案事業の執行状況について、事務局より説明があり、内容を確認しました。今年度は追加の事業は行わず、現在予定している事業を実施していくこととしました。

次の会議は、1月10日（金）午前10時から開催します。

（後藤会長）

ただいまの報告に対して、ご意見やご質問はありますか。

自治会・町内会の方を対象に行った「発災時の地域防災対応力向上事業」については、大変多くの方からご参加いただき、ありがとうございました。災害が発生した際の対応について学ぶ良い機会になったものと思います。

この事業に参加された委員を代表して、地域で防災に関わっていらっしゃる佐藤清委員からご感想をいただきたいと思います。参加されていかがでしたでしょうか。

（佐藤 清委員）

私も参加しましたし、コミュニティ協議会の役員や各自治会の担当者等、多くの方が参加され、地域で学べなかったことを多く学べたという賞賛の声が聞こえたところです。役員が常に交代をしている状況もありますので、災害というものを身近に感じていただき、死ぬか生きるかに関わる大切な取り組みですので、各自治会や各団体で継続的な取り組みとしていただきたいと思います。これから指導していくとともに常に学ぶ姿勢を維持していきたいと考えております。第1部会の皆さん、本当にありがとうございました。

（後藤会長）

次に、福祉・教育・文化部門の第2部会から報告をお願いします。

（田中委員）

第9回の会議は、12月11日に開催しました。

はじめに、「東区めぐり子どもバスツアー報告書」について、事務局より追加ページの説明があり、内容を確認しました。そして、報告書の配布先を検討し、東区内のコミュニティ協議会や小学校等へ配布することとなりました。内容としては、報告書の表紙があり、目次、開催概要、準備したことや注意したこと、主な経費、見学した施設が載っており、6ページのまとめを今回新たに追加し、最後は開催チラシとアンケートをつけて完成したので、報告させていただきます。

次に、令和元年度区自治協議会提案事業の執行状況について、事務局より報告の後、

内容を確認し、追加の事業は行わないこととなりました。

次に、令和2年度区自治協議会提案事業について、テーマを絞り込むために、健康福祉課から、市の子育て施策や、東区の子育て施策について説明を受けました。協議の結果、「世代間交流」や「子どもを孤独にしないための環境づくり」という方向となったところです。そして、今回は、もう一つのテーマである「不登校児童生徒の居場所づくり」に関して、東区の現状等を教育支援センター阿部所長より、説明を受けることになりました。健康福祉課への主な質問としては、妊娠期の支援や回数、会場など足りていないようなことはないのか、案内はどのように行っているのかという質問、講座の参加に積極的でない人へはどのような対応をしているのかという質問、東区の子育て支援講座にあるBPプログラムとはどのようなことなのか等の質問があり、記載のとおりのお返事がありました。妊娠期や幼児期に対する福祉的な支援は非常に手厚いということが分かりました。

その説明を受けた後に話し合い、主な意見は記載のとおりです。健康福祉課からの説明を聞き、小さな子ども向けの支援は充実しているということが改めて分かったと同時に、学童期や思春期に対する支援が足りないのではないかという意見がありました。また、子どもを孤独にしないことが一番大切だと思うという意見もありました。先日あった悲しいニュースもそうですが、孤独になってしまった児童がSNSによってあまりよくないところとつながってしまわないような環境を作ることが大事なのではないかということで、世代間交流やスマホの使い方等を今後取り組んでいくことで話がまとまりました。

次回の会議は、1月9日（木）午後2時から開催します。

（後藤会長）

ただいまの報告に対して、何かご質問がある方はいらっしゃいますでしょうか。

平成28年度から自治協議会提案事業として実施してきました「東区めぐり子どもバスツアー」の活動報告がまとまったということで、大変よろしかったと思います。各年度のアンケート結果を見ても、満足度の高い事業だったと改めて感じています。第2部会の方はお疲れ様でした。

続きまして、産業・環境部門の第3部会から報告をお願いいたします。

（菊谷委員）

当日は國兼部会長が欠席でしたので、代わって報告いたします。第9回の会議は12月12日に開催しました。

はじめに、令和元年度区自治協議会の提案事業についてです。「東区の農産物魅力発信事業」として、東区の農産物を使った料理教室について検討しました。内容については、資料に記載のとおりです。名称は、「キッズクッキング 子どもと一緒に地産地消!」、開催日時は、2月29日（土）の午前10時からを予定しています。会場は東区プラザ調理室、内容は子どもの調理実習と保護者向け地産地消の講話、定員は小学校4年生から6年生まで20名とその保護者、講師は昨年度の事業でもお世話になりました料理研究家の石田恭子さんです。子どもたちの調理に関しては食生活改善推進委員協議会東支部

の皆様からご協力いただくことになりましたので、よろしくお願いいたします。

募集については、区だよりで行うこととし、チラシは東区内の行政庁舎に設置することを予定しています。参加費については、子どもは無料で、保護者1人につき400円、料理内容は「きらきらコシヒカリの炊き込みご飯」と「もちもちひとくちコロッケ」、「やわ肌ねぎの味噌汁」、それからデザートとして「越後姫」と考えています。

次に、東区の公共交通の研究について、事務局から東区地域公共交通検討会議の会議概要の報告の後、出席した部会員から検討状況の報告等がありました。

市内視察については、資料の行程表のとおり、部会終了後に行きました。

最後に、公共交通に関連した講演会の開催について検討しました。開催日時は2月7日（金）午後1時30分から4時30分まで、会場は東区プラザ多目的ルーム2、内容は「(仮)公共交通の現状と生活の足を守る地域の取組み」などを考えております。講師は、交通ジャーナリストの鈴木文彦さんです。全国的に活躍されている方で、新潟の交通施策にも関わられた方です。対象は、東区自治協議委員会委員と東区内の地域コミュニティ協議会の希望する方を対象に考えております。ぜひ皆様のご参加をよろしくお願いいたします。講演会に関連した内容や公共交通に関連した意見もあり、内容については記載のとおりです。よりよい講演会になると良いと考えていますのでよろしくお願いいたします。

次に、令和元年度区自治協議会提案事業の執行状況について、事務局から報告があり、内容を確認しました。これについては、第1部会、第2部会と同様の協議結果です。

最後に、市内視察の行程表について改めて説明いたします。部会終了後の午後1時から5時15分まで、見学に行きました。はじめに、1時から移動スーパーの取組みについて株式会社マルイの矢引様から説明があり、その後に市のバスで津島屋へ向かいました。そこで移動スーパーの現地視察ということで、「とくし丸」というトラックを改造した車両で食品を販売している様子を見学させていただきました。沢山の種類があり、私も夕飯のおかずを買わせていただきました。その後、市のバスで中央区役所へ移動して住民バスの取組みについて、新潟島に循環バスを走らせる会の方から説明を受け、実際に、しも町循環バス「にこここ号」に乗り、1周してきました。路線バスが通らないような寂しい松林も通るため、高齢者に限らず、一般の方にも助かるバスではないかと感じました。東区役所には5時15分頃に戻り、視察は終了しました。

次回の会議は、1月9日（木）午前10時から開催します。

（後藤会長）

ただいまの報告に対して、ご意見やご質問はありますでしょうか。

（月岡委員）

「キッズクッキング こどもと一緒に地産地消！」の定員が、20名というのは、東区全体としては少ないのではないかと思います。東区めぐり子どもバスツアーも定員40名でしたので、2回くらい開催してほしいと思います。

（菊谷委員）

調理室の調理台が6台しかないので、あまり大人数でも狭くなると思います。
2回の開催はどうでしょうか。

(國兼委員)

年度末の実施でバタバタするのではないかと思います20名にしたということです。これの反響が大きければ、今後、第3部会のほかでも、何らかの形で取り組んでいけるかも知れませんが、今回は初めてですので、1回の開催にして20名を考えています。東区めぐり子どもバスツアーみたいに人がたくさん来てくれればいいのでしょうかけれども、初めとしては20名の抽選としたいと考えています。

(田中委員)

2月7日の公共交通の学習会ですけれども、想定人数はどれくらいですか。

(菊谷委員)

定員は設けていませんが、机がない場合は80名程度入れます。机付きの場合は60名程度が最大となります。

(田中委員)

第1部会、第2部会からも積極的に行ったほうがいいでしょうか。

(菊谷委員)

ぜひ、お願いします。

(後藤会長)

自治協議会提案事業「東区の公共交通の研究」として、12日に行った市内視察の報告がありましたが、第1部会から参加された和田委員は、参加されていかがでしたか。ご感想をお願いいたします。

(和田委員)

私どものコミュニティ協議会で高齢者の移動の問題を取り上げていて、その関係で良い機会なので参加させていただきました。当日は結構風の強い日で、寒くて大変な思いをしましたが、中央区で実際に走らせている団体の苦労話もお聞きし、経緯や取組みも全部お聞きしましたので、私どもの地域として何かプラスにできればと思いました。また、2月7日の講演会も参加したいと思っています。高齢者が増えていますし、私の家の前をよく高齢者の方が両手に買い物袋をぶら下げて歩いている姿も見ます。財源を考えた時には、なかなか難しい面がありますが、一步一步着実に地域のコミュニティ協議会でも検討していきたいと考えていましたので、非常に参考になりました。ありがとうございました。

(後藤会長)

私も市内視察に参加いたしました。移動スーパーは品揃えもとても豊富でした。お酒はありませんでしたが、電話をすれば酒屋から運んでくれるということで、焼き鳥もきちんと揃っており晩酌もばっちり出来そうでした。中央区の住民バスですが、実際にバスに乗車できましたし、車内で実際に利用されている乗客の方ともお話する機会もあり、大変勉強となる良い機会だったと思います。今後の活動に活かしていただければと思います。

(2) 広報
紙編集部会
報告

続きまして、(2)「広報紙編集部会報告」です。中川部会長よりお願いいたします。

(中川委員)

第6回の会議は、12月19日に開催しました。

はじめに、令和元年度最終号になる第19号の発行に向けたスケジュールについて、事務局から説明がありました。第19号は3月1日に発行予定で、掲載内容や紙面のレイアウトについて検討した結果、原稿も各部会長に依頼することとなりました。掲載内容ですが、今まで掲載していなかったものを載せたらどうかということで、令和元年度の東区自治協議会としての主な取組みについて掲載することとなりました。それから、自治協議会についての説明、これはしばらく続けていこうかと思っています。他には、毎年最終号に掲載している各部会の活動報告と、編集後記を掲載します。レイアウト等については、18号も結構工夫をしましたが、それでもご意見を頂戴しましたので、その辺も踏まえて19号を考えました。工夫をしたつもりですが、どうやっても100%オクケーということは多分ないですし、19号の発行を見て、また周りの皆さんからのご意見を頂戴して20号に続けていければと思っています。

次回は、2月14日(金)午後1時から開催します。

(後藤会長)

ただいまの報告に対して、ご意見やご質問はありますでしょうか。

(3) 東区
自治協議会
委員推薦会
議報告

続きまして、(3)東区自治協議会委員推薦会議報告です。推薦会議の座長に代わり、私から報告させていただきます。

それでは、資料3をご覧ください。11月27日に開催した第1回の委員推薦会議の会議概要録になります。

会議内容ですが、はじめに事務局から委員推薦会議の役割等について説明があった後、互選により座長を選出いたしました。

次の「3座長専決事項について」です。こちらは「東区自治協議会委員推薦会議運営要綱」の第8条により、座長が専決する事項について決定しました。要綱では、団体選出委員等が任期中に欠けた場合、委員候補者の推薦について、推薦会議があらかじめ定めた事項を座長の判断で決定することができることとなっております。

これにより、この度の木村委員の辞任に伴い、新たに協同組合新潟木工センター様から選出された方を、東区自治協議会の委員候補者として決定することについて、座長の専決事項として決定いたしました。

委員推薦会議の報告は以上となりますが、何かご質問のある方はいらっしゃいますで

<p>(4) 東区自治協議会委員推薦会議における専決処分の報告</p>	<p>しょうか。</p> <p>続きまして、(4) 東区自治協議会委員推薦会議における専決処分の報告です。こちらでも座長に代わりまして、私から報告をさせていただきます。</p> <p>資料4をご覧ください。参考として記載のあるとおり、「東区自治協議会委員推薦会議運営要綱」の第9条により、団体選出委員等が任期中に欠けた場合、公認の委員候補者の決定に関する場合は、推薦会議の議決をもって区自治協議会の議決となります。</p> <p>委員推薦会議において、木村委員の後任として、協同組合新潟木工センター様から推薦されました行田充さんを委員候補者として決定いたしましたのでご報告いたします。任期は令和2年1月1日から令和3年3月31日までとなっております。</p> <p>なお、所属部会は木村委員の後任であることから、第3部会とさせていただきたいと考えております。何かご質問のある方はいらっしゃいますでしょうか。</p>
<p>(5) 第2回区自治協議会会長会議報告</p>	<p>次に(5) 第2回区自治協議会会長会議報告です。こちらでも私から報告をさせていただきます。</p> <p>資料5をご覧ください。こちらは、市民協働課が作成した会議の概要録となります。</p> <p>議題1として第7期区自治協議会の運営状況について、各区の会長より報告がありました。私からは、提案事業の実施状況や、委員研修会として行った県立大学生とのワークショップ、来年度の提案事業の方向性について説明いたしました。他区の報告内容については記載のとおりですので、後ほどご覧ください。</p> <p>東区はイベント開催型から方向性をシフトしていきますが、他区ではイベントで経済的効果はかなりあったという東区の方向とは少し異なる報告等もあり、区によって事情も様々だと思いました。</p> <p>また、発災時の対応についてですが、各区の会長からも、もちろん発災時には行政からも頑張っていたかなくてはならないけれども、地域によって状況が異なるので、各地域のことはその地域の方が一番よく知っているという声がありました。例えば、6月の山形県沖地震の際、村上市もかなり揺れて、新潟市の沿岸部も津波注意報が出ましたが、避難所のおにぎりの数が少なかった等の報告もあったようで、発災直後に具体的にやることは、やはり地域の対応が有効になるというような議論もありました。</p> <p>議題2は、区自治協議会全体委員研修会でした。こちらは、研修会の内容や普段感じていること等の意見交換を行いました。</p> <p>私からの報告は以上です。何かご質問等はございますでしょうか。</p>
<p>3. その他</p>	<p>次に、3「その他」です。はじめに、本日が最後となる木村委員から一言ご挨拶をいただきたいと思います。</p> <p>(木村委員)</p> <p>この度、12月いっぱい職場の木工センターを家族の介護のために退職することになり、それに伴いまして自治協議会の委員を退任させていただくことになりました。任期の途中で退任することにつきましては、皆様にご迷惑をおかけすることになりお詫び</p>

を申し上げます。後任についてですが、先ほど説明のあった資料4の候補者名に行田充さんと記載がありますが、こちらの方を木工センターより選出させていただきました。組合員企業の一つであるアルポオル工業株式会社の代表取締役社長です。こちらは、住宅用の化粧板を製作している会社です。皆さん、私の名刺を覚えていらっしゃるでしょうか。木で作られた名刺ですが、こちらを作っている会社です。行田社長は、ものづくりの現場の過去と現在をよく知る方ですので、産業のまちと言われる東区のお役に立てるのではないかと推薦、選出させていただきました。

これからは、一市民としてぜひ関わらせていただきたいと思います。自治協議会では様々なことを経験させていただきました、勉強も色々させていただきました。皆様、大変お世話になりありがとうございました。

(後藤会長)

木村委員からは、県立大学生とのワークショップの際には説明資料を作成していただき、また、第3部会での活動においても大変積極的に取り組んでいただいております。当協議会にとって、貴重な人材でありましたので非常に残念ではありますが、これからのご自身のご活躍を期待しております。

続いて、事務局からお願いいたします。

(事務局)

それでは、事前に送付いたしました「淳足柵発見への展望を語る集い」のチラシをご覧ください。こちらは、特色ある区づくり事業の「東区歴史浪漫プロジェクト」として開催いたします、鼎談とシンポジウムになります。旧和島村で「淳足柵」と書かれた木簡が発見されてから、30年を迎えることを記念して開催いたします。ぜひ、皆様もお越しください。

次に、本日配布いたしました「バレンタインふれあいコンサート」のチラシをご覧ください。こちらも、特色ある区づくり事業「東区まんなか文化プロジェクト」の一環として、2月11日(火)の午後、東区プラザのホールでコンサートを開催いたします。東区の大形中学校出身で、県音楽コンクール県知事賞も受賞された田中健太郎さんのピアノ演奏もあります。申し込みが必要となりますが、こちらもぜひお越しいただけたらと思います。

最後に、「東区まちづくりセミナー」のチラシをご覧ください。先ほど、第1部会の長谷川部会長からの報告もありましたが、2月16日(日)午後1時30分から、自治協議会提案事業「東区まちづくりセミナー」を開催いたします。じゅんさい池をキーワードに、まちづくりについて考える内容となりますので、自治協議会の皆様のご参加もよろしくお願いいたします。来月の部会で、出欠の確認をさせていただきますのでお願いいたします。

4. 事務連絡

(後藤会長)

最後に、4「事務連絡」です。事務局から説明をお願いいたします。

5. 閉会	<p>(事務局)</p> <p>それでは、事務局より次回の自治協議会全体会議、各部会の日程についてご連絡いたします。</p> <p>全体会議は、令和2年1月30日(木)午後3時40分から、東区プラザホールで開催いたします。当日は、全体会議の前に第2回東区教育ミーティングを開催いたします。第2部会の委員の方と、出席を希望されました第1部会の長谷川委員、月岡委員、和田委員、関根委員、第3部会の菊谷委員、大江委員、佐藤清委員、土田委員の皆様は東区プラザ講座室1に午後2時までにお越しください。</p> <p>第1部会は令和2年1月10日(金)午前10時から会議室A、第2部会は1月9日(木)午後2時から会議室B、第3部会は1月9日(木)午前10時から会議室Bにおいてそれぞれ開催いたしますので、皆様ご出席をよろしくお願いいたします。</p> <p>また、先ほど第3部会の菊谷副部長からもお話がありましたとおり、自治協議会提案事業「東区の公共交通の研究」として、全国で活躍されている交通ジャーナリストの鈴木文彦さんをお招きし、令和2年2月7日(金)に講演会と意見交換会を開催いたします。公共交通について学ぶ貴重な機会となりますので、第1部会や第2部会の皆様からもぜひご参加いただきますようお願いいたします。</p> <p>本日の資料を送付する際に、同封いたしました「出欠確認票」を、来月の部会までに事務局にご提出ください。どうぞ、よろしくお願いいたします。</p> <p>なお、本日の全体会議終了後の午後3時30分より、適応指導教室設置に係る協議を予定しております。協議メンバーの方は、1階の会議室Aにご移動をお願いいたします。</p> <p>(後藤会長)</p> <p>これで、予定された議題はすべて終わりました。</p> <p>会議全体を通して、自治協委員が集まるこの機会に何かお知らせしたいことなどはございませんでしょうか。</p> <p>それでは、以上をもちまして、令和元年度第9回東区自治協議会を閉会いたします。お疲れ様でした。</p>
傍聴者	0名